

Q 書かない窓口の導入 について

やまなか
山中 基充 議員



A 窓口業務のデジタル化を 着実に実施

書かない窓口は、自治体の窓口での証明書の請求や届出をする際にマイナンバーカードを活用し、申請書を書かずに手続きでき、多言語対応も可能で外国人住民のサポートにもなる。デジタル田園都市構想での好事例の横展開であり、国からは、自治体窓口DX SaaSの提供が行われる。

書かない窓口の導入は、2月から転出入のワンストップが全国で開始した。それに伴い本市では3月から住民異動と連携し、国民健康保険や子ども医療などの手続きに市独自の書かない窓口を導入している。

デジタル化による書かない窓口業務の実施、そしてオンライン手続き充実は、北海道三笠市で市役所が向う移動市役所として行っている。この取組への市の見解は。



市民課窓口

答 まずは、書かない窓口により市民の利便性を向上させる。最終的には書かない窓口から、来庁しなくても済む窓口を目指したい。すぐには追いつかないが、個人情報の取扱いなどに注意しながら、着実に進めていきたい。

◎その他の質問

- 一 チャットGPTの活用を
- 二 一部事務組合の今後は
- 三 不要になった新型コロナ対策のパーティション等について

Q 小・中学校における水泳 授業のあり方

おがわ 小川 茂 議員



A 様々な形態で授業を実施し さらに効果を検証していく

問 民間施設での試行の現状について。

答 今年度は、鶴ヶ島第二小学校、新町小学校、栄小学校及び南中学校の4校を対象に、鶴ヶ島駅周辺の民間スポーツ施設を活用した水泳指導を試行的に実施している。このうち、鶴ヶ島第二小学校及び栄小学校は1学期中に全ての日程を予定どおり終了した。

問 民間施設での試行の現状に
ルートの確認やそれに対する安全対策、カリキュラムの変更、施設での指導内容や評価の方法など、学校だけでなく、施設や事業者と様々な調整を行った。関係者の連携により、概ね予定されたスケジュールどおり授業が実施されているものと認識している。

答 泳力検査の結果や子どもたちが記載する学習の記録、インストラクターからの情報収集に加え、プールサイドからの見取りの結果、これらを総合的に判断して、教員が評価、評定を行っている。

